連絡部と改稱

遭支軍 特務機關新發足

速があるが、要は一に中國側の自地域などの質問に應じて多少の選 その新登足の時機は都市や透師な

> 派遣以将兵と同様なる心構へを持 **感してゐる、在華一般邦人もまた** 長 の心をもつて心となし、その

目的達成に選進せんことを固く決

り速かと総総を認成することを一着中の推消を扱ったが、然し決し「記した野脳をおこの態を必めるために、西一栗成し、吉下イツは異態観線に対て「て打ち破られた間ではない』と附

解める態度と誠心積極的な質量

して、國策の向ふところに欣然理

日本に絕對有利

の局當軍獨

策が反揮輸陣営に深刻な恐怖を敵 を では三月以來デニッツ提督の の海では三月以來デニッツ提督の

、州、鎮江、楊州方面に於する整 月廿六日十六時)吉田支那方面 月廿六日十六時)吉田支那方面 月廿六日十六時)吉田支那方面

する。、従來の關連絡官はこれを廃止

種を修正して『軍連路部』と改め

設備に関する環境の運絡開査

機関の活動を側面的に援助せしか

となり、右に関し廿六日左

印度防衛の力なし

一定的戦災が生じた、去る一

確保する陣地級は微動だにせず、 高洲に主力を集結して、

反攻の機

ある、

職局の

今後については

戦率

取局は日本軍にとり絶勢有利に展

を狙つてゐるやうだが、日本軍の

部における最初の決戦は反覆軸側

関逐しようと闘うた反應触単は資

え去り、テユニジャ中部および南

七十四萬八千百トンを開沈、隣り

既に東條首相を訪問し退京の挨拶

過軸部船級計百世级七十九萬八千

一・モ長官

上機によって戦化されてゐる、

半島側提案七件

ニジャ地方から艦艦勢力を一気に

チュニジャ戦線テニ

を完全に確保してあることだけは

セント方上廻ってゐる

協議する第十回内外地物優級級

東京電話』内外地間の物間調整 め管分離京の第定である

內外地 物價調整怨談會開く

大春 體季 完 了 戦

国、竹內內絲省際理局長、伊原企 睦能で開催、穀沼粉工省物似局額は廿六日午前十時内務省第二

務所機構改革

海大使館事

院第一部第二珠長、小泉朝鮮總

【ベルリン二十三日同盟】 関軍 一も極めて有利になってゐる

大東亞戰局。反臨軸がは

東部戰線、決定的轉換

文那派還軍當局談 関係日に〈経路の度を加

まつ最初に平南、黄海兩道巡视一重根以下騎波なる思想の把結者を

も輩出せしめた地域であるが、雨

である。由來檄として强力なる者

の上に逐次同上進展しつつあるを

朝の首都の所在地であり、平奏世間周知の如く平南道は高句麗

るが如き過去の習俗は大概に於い 道共にその現状に於いては上述せ

則に基づき、これら兩道大衆に對 はまた味方として有能なりとの原



首相に満酒下賜

白聞一見に如かず 施策、愈々具體化

が皮炎戦を終って腐敗したが、脚ち耐道因衆の民間をはじめ新く、 の野道炎戦の原域を置った、脚ち耐道因衆の民間をはじめ新く。 の野家を初め前途益々省盟な織工業の進展、半島農家の燃料、 として超ち上らんとしつへあ

20五項目にわたって限利周端なる。破滅と、物理を監督の方面と極寒を記すること深く、その意味で共自と動きの方面と極寒を記すること深く、その意味を記すしたので、更に今回の際望聴感を以す金銭の初度感聴を完すしたので、要に今回の際望聴感と以て金銭の初度感聴を完すした。 する、総督の車中版の内容は次の通りである

地がない る農業生産道として食施到策上寄 **两道のうち就中黄海道は有名な**

- 覇に勢して慰秘を得し、一をび」上に昼間問題として翻が総集のは「墨毘玛殿仏と相俟って養し命能な「耕地問題を破跡するに平用道に於「毘むることを得るたららが見光敏」、後縁なれども由来翻「て「舞せられ,時間感動の基関の「する道郷館」を得るに於いては「奥すること大である。而してその」の第力の容易をる複態展 の適切なる指導と歴民道場出身者 た処日郡南大池の如きは即ち官憲

部すれば反抗の脳史を倒し、また | 要を自覚しその各自に駆する職域 | 國民たらしめ得ることは疑ひの餘

人人第八十一部國際意味會につき御配を制「東京電話」思考及りでは廿六日 第八十一帝國議會財會につき御嶽 黄海道は一戸路り平均二町一 があると同時に歴民の動物度もまは、一律に宋だ十分ならざるもの 出身者の多数輩出により中堅者と 朝鮮年島大衆の動勉度に開して 整定見ず、從つて を自覚する 鑛工業について

非ざるも、その他の重要競物、 と相俟つて、將來の進展正に刮目 は像鑑石、タングステン、籔 職工業に伴ふ労務に関しては、

べきものあるを信じて疑はぬ

特に畑地面積の多き隣道に於い

器に背かざらんことを期したい なほ水利事家の鑑案増配に信利 周知の謀置にして、

ず堆肥の重要なる原料となり、 はたゞに襲工品材料をるのみなら

し天下の個観である、何となれ までもない、而して頻南浦を中 港飲及び鰕道施設の産業振興に

海州附近を中心とする工業の發展

平壤を中心とする地帯が世界稀 見る良質無難炭重地なることは 屋の構造について燃料、肥料及び家

に想到すればたゾに鎮南浦の

の関係により急速なる實現空域な

今更資富を要せぬ、而して一面最

を併せ収め得る如く改善せしむる

百三十隻を屠る

獨潜水艦、通商破壊戦に活躍

果戰の月三

年三月一日以降廿五日までに於け が、トランスオツエアン通信は本 と共に果然温度を加へて死である

この二十五日間における摩沈政

示し本年三月は我が潜水艦隊に 八千噸)で前年同月を通ず による分は百廿一隻(七十四路

置の大なる驚くべき將來性を有す

朝鮮競道本級中平壌以北の復級 ある

り一氢酸単に酸糖を開陳すれば概

担て朝鮮着任以後数に今回の版

も尚且つ人的並に物的資材を更に

水白

一人は異なりであった。 ・ 一人は異なりであった。 ・ 一人は異なりであった。 ・ 一人は高速なり、人間影を奔放 ・ 大田歌を存放 ・ 大田歌を存放 ・ 大田歌を発放 ・ 大田歌を発放 ・ 大田歌を発放 ・ 大田歌を発放 ・ 大田歌を発放 ・ 大田歌を発放 ・ 大田歌を表する。 ・ 大田歌を、 ・

刊新社

學問士 拔 山

平

一著

個三·○○外地送六○ 同三·○○外地送六○

三紀高等

有孔蟲の

研究

第三、従つて南方油田の調査開経に必有孔縁及び之に常装な験係のあるもの

報告 行談合(十九百付) ・ (単本) 芝師 皇 ・ (本) 開野 正 「瀬・(七等) 川男 四 ・ (本) 10月 昭一 「初・(七等) 10月 昭一 「初・(七等) 10月 昭一 「初・(七等) 10月 昭一

泰著

價四·OO外地资八○

二旬 本 好 沒 就 會 式 株 善 丸 遷 舊 京 東 東 東 東 東

學

道技師 岡田 仁弘 交 茲 田裕

油脂化學及油炭學數上野減一

一著

名 論 續編——1 名 論 續編——1

圏に適用し得べきこの方面の版き知敏 農業的利用増進に関する事項を附別せ 書は土地収良開設を主目的とする農深

「敵を最も平明に脱いたものである」「せしめ、從つて本邦内地及び南方共、「栄士木を中心とし、こに改良開液地

林辣試險汤技師棄持 游 野 功

(學林) 到項官連過車數學 (總務) 所謂 官和 田惠三次 (響務) 通解目用总。何) 同林利治 (會新) 透照 医中央、取自局域 (中) 有人,取自局域 (中) 有人,取自局域 (中) 有人,取自局域 (中) 有人,不是一种,他们原义为一种,他们原义为一种,他们原义为一种,他们是一种,他们就是一种,他们也是一种,他们是一种,他们是一种,他们也 ◎ 本

工學の基礎を學びたいものは豫科へ 會費一ケ月八 ○ 段

◎速成科----各科薬修を帰る ◎豫成科

【呈進本見】

年周一卅立創 **會學業工本日大** 臺灣學業 人名 第20元年 第20元年 第30元年 第

開講題自らの無能を告白 度省に於いても長文五萬語に達す 文の公文語を疑衷、ロンドンの印 一新並に國民會議派を誹謗する長

画館機関古へ一番に非難を浴び 政界に深刻なる不満があり米國の 國首相チャーチル、印度事務相ブ 【東京配話】印度政策に関する英

なにガンジー家の断食に開際した 機管が無條件釋放に関する英國 |を要請してあるが、印度民衆・際は米英が現在の戦争を出來る限「す、來るべき不格的攻撃に際して||國府の参照以來の概計はすでに十一麼の大公義は、「常職争の義行につき全面的協一大便は廿五日歌時者を發表し、又 | り瀬足すべきものであるのみなら | 合計すると質に五萬一千を数へ、 | が方の記摘を持つまでもない、英國政府が独り化印度に対し | 「

結成を要求した、配ちマイスキー 通じて米英に對し重ねて第二職級 ソ聯政府は駐在大便マイスキー

するに東部戦級の戦局は獨軍にと

完了した、今回の作威の者しいは

なる販果をあげて大阪

吉田司令長官

清郷地區を祝察

三、新製品の政扱に関する件

慶林、変通、財務、監査の六部と

) 廿六日潤 日夜隣城

でいた。
「「ない」
「ない」
「ない」

の物定 日午後二時 終部長)東

に湖北省に於て行はれ

思はれる、わが歴職の情報による 差船舶への猛魔は悪日にわたつ

呪するに 從つて さらに 増加すると

入つた朝鮮戦の提案は

間、山崎内郷次官挨拶の後、

機構の内容は公値の下に転職室、欧軍し四月一日より質施する。新 的機能速並のため今回その機構を

同腦升格。(江原)產率技師闽田仁弘(全

一房のほか総務、司政、經濟の一

15.7.5.10%場技師 技選水變要品報道

拉師

た君李進攻作戦は武大

六日竣表) 蘇藩地區並

【南京廿六日间盟】友

酸は瞬順者と俘虜の激増で刺落を

脱祭を終へ勝選したが、同鑑隊報 艦隊司令長官はこのほど消極地區 【上海廿六日同盟】吉田支那方面

ら印度政盟としてはガンシー の印度政策が論難されてゐる

敵の反攻、悉く失敗

烈かつ組織的であることを認め

護會閉式後閣僚の記念撮影

「ローマ特別出五日登」イタリー たっぱい 関連された 反衝験紙の 次野は備い続いたいでは廿五日が開始版の次、マ中、関部で続にいて廿一日来 関本で続いては廿五日が開始版の次、マ中、関本で続いたいて廿一日来 於いてアンダーソン麾下英第

チュニジャ戦線 樞軸軍振

て極軸軍に側面攻撃を受ける日ジェベル、メラブ地區に

の七項目で、その他の提案事項中

四外地物質網整の基調に属す

開カキ膜 カキ膜 がエスタ 炎スイ炎

全有骨突出し骨が曲り化腹する-全手足シピン節々がハン痛む-手足不自由で歩行困難に惱む-であるが、からな病気の方へ

がした いで で見り す

鬱雞

On.

說社

日ソ漁業暫定協定の成立

職争の巡獄によって、たとび職

鰛機船巾着操業數

百六十八統を内定

に際し我が國選を賭して獲得 な子北洋ソ戦艦隊は、日

なるものである。ここへに敗めて ばならぬが、ともかく現行係

薬のもつ重要意識は密末も放投 第二の意識はこのことの反應 心と強へる米英雄艦の深き生

の日ン漁業暫足の成立は へたことになる。

結交渉に借って、特國の真法に 労力を致すべきことを切望して

レ米如ソの関係に達に適ひ得 に我々の希別してや东ぬのは、 この日ン関係をして暫定的なる ある。即ち日ソ漁業の長期本係

とは賊に宴ばしい、共祭國籍國一事が出席するはず、跋尾するやうな點に妥語したと一十二万間でままり 蔣介石の軍事顧問 ウクライナ再建に積極的協力

フェノスアイレス 廿五日同盟 一

炭價の適正化緊急

松本石炭統制會長挨拶

米、飛行機工業

を駆けて軍需増産を内外に宣傳

【サイゴン特徴廿四日登】特別四 特別圓決濟 法打合纒る

つた卵印銀行郷支配人ポー 理事會議

六の附日東京に於いて開かれるこ

前赤軍のビ中將

半島の金屬回收

先づ企業整備が緊急

本年度認適は廿五日午前十一時か

職員の待遇政政については家族

共濟制度を擴充

官吏待遇改善策完備

たが、このほど成案を得たの

の遺施をみたが、今回即に共

個は避材と努力であるが、努工 昨年十月決定した石灰創敬に基一 つべきものが多する

どにも試及して注目された、挨拶

ることになったが、これが

來月中旬方策を決定

から業務開始帝國銀行四月

從つて今後類政會の欧組問題はこ

こに種々の意見を網報または幹部

一を得る眺びにしたいと云ふのが食 ならびに人的概成について具個家

しても、直ちに配懈につけるだから、いつ如何なる事態に

※仰げ大空』など

れることになり、決版意識をひし

• 用使科人婦院病名有 本語のでは、「一個では、 一個では、「一個では、「一個では、 一個では、「一個では、「一個では、 一個では、「一個では、「一個では、 一個では、「一個では、 一個では、 一面では、 一面では 一面で 一面で 一面で 一面で 一面で 治療科子を選組しますから速度なく御申込下





静かなる嵐 (II)

では、卅日午後三朝鮮輸出工藝協會

鑑けてある収さんは、

収详さんの『酢かなる風』に歌 る道を映れて、傍目も振らず

心次第

一般を脱いで、初めて

一の外用スルフォンアミド劑

●最高純度テラポールの、化腺菌

膿面

瘍 皰

痔 膿皮疹

直接作用せしむる新外用劑。 に對する驅き抗菌力を、患部に

むる等、効果頗る速やかなり。

第一製藥株式會社 テューブス・五〇・八〇

映畫の觀覽料 全鮮的に統制

ないのである。自らの信ず 切体吸の概念に伴って紅島開系

一十七を取る

別は無**代進星**

成、整備と云ふ根本方針の決定が成、整備と云ふ根本方針の決定が 数は注目される 本社寄託献金

職職能所は決敗下の叛結指揮として一レ牛脳の特殊が低中に対威するた

政策と不可分都然一

半島の産業體制確立

取削所法の施行に関する項契事項を開査審職する有関遊券取引委員

/回麥與寶麥與世二名、臨時委員

回委員會は來月早々第一回委

では同日附をもつて次の如

廿六日電制公布をみたので、

る盟ロ取引の方法その他日本磁影

内地機構を延長

總合計 百十一萬七

下上地京版株式高小町山 東山 11、町村道八年1日 東山 11、町村道八年1日

荷造包裝協會總會

統制品なる内地画歌曲の「元的な **人口割當配給 内地產蒟蒻**

政策、運用の一



し黒土と春の

を見ても、無理な工作がしてあっ

的指置がとられるものと見られて 開行の一切業務は右新銀行が

■ ないできりたが、すでに順関に ・ 数別の中に、数定された準備工 ・ 数別の中に、数定された準備工 ・ 数別の中に、数定された準備工

順調に進捗中 **雲峰ダム工事**

確にかんがみこれが中極機関をる

で無数の歌前によって適能なる機

就の開発回復を待つて急速に臭機

群頭総務から『親政督改革につき

證券取引委員任命

來月早々第一回委員會

遺兒ら喜びの對面

九十名が得せる待った廿七日の此。を希め衣服を正して午前八時廿分、「東京観路」、韓國の後県四千八百一夜を明した後見道は早期起床。 身

けふぞ呼ばん



指導者錬成所となつた龍山總督官邸

古の名木も征く

大自然に挑む人様夫の闘魂

一月来に終った 家は十日の伐木平二百才、百五十

創業以來の記錄

増産に〝製鐵八幡〟の大車輪

はふりむけられてゆくのだ【第

黄海道々議内

爾を示し、今月末までには遂に本「ヒ食かどころ少くない、すなはちたる郷輪の推薦は近近ます」とが、生産新田線の構立に運滅した結集した経典をある。

才が役柄に遊ばれる鮮の造船所

の言葉を贈る

用意はよいか

新設の特別錬成所 四月一日一齊開所式

紀のなど町く半路の独丘側に備一

輝しき、健兵半島、の第一

公會堂で舉行される皐后壁下御下分および午後一時世分から日比谷

軍を開始したところ全従劉貴の開 公全くこくに集中され大東部設

れ朗他する

すみれ丸沈沒 客を乗せ過ぎて

遭難者多數

五月廿六日間沿で、また日本宗教

ぜん息神經痛や

風·高血壓

いなで治不

から治療する

今津博士の新しい療法

國策代用車

續々ご開放寺院教會を

『威時生活の確立』『遊身春公の『威時生活の確立』『遊身春公の 東京電路】『必勝信念の出場』 て來た各宗教としては、昨年十

室毎が、心の道場

指導者練成所に變る龍山官邸

一般総哲府指導者解成所々と修理し

十名を救助したのみでなほ世 原接鈴木吉三郎氏等もある 電税務署長沿邊三郎氏、統然郎 は救助船数型を現場へ急縮に接した場

中や嫉郎が擬んで知れる人は

せん息 でせき たん息切れ呼

一周年記念日セレベス戡定

日本的世界概を解得する修飾江湖

治四十三年二月,西司令官人邸

別のよりがはなった日と日本のようのようのというのである。

製造市公園館前中尾小家には大学に関えている。 の方や脚の高級の人の方や脚の高級の人

【東京電話】貴族院では二十六日 **貴院、傷病兵慰問**

おお、失、度 ・ では、 ・ では、

一、面接期日

の完璧、必勝信念の所揚に東出すを開យ、いよく、追溯に恵想頭の 職した結果年の如く動間を行ふ

王隆アイ

スクリームの素

前間、節約、離ず、意見等と現

七の岩返った

無代進品談談談 京中合町東天光堂 イタルゲン

が清掃く力 經濟的も

表の晴の作競方級 湿臓

さつら船板だり大自然に挑む協

別の「福原神宮、伊勢師宮泰邦を終って一般の安田泰恩氏以下十名の一行は「安原野話」被海道大路員内地震」

ことが明らがとなったが、石はわ一一周年を記念して啓蒙男に放いて

月間『大京四級新記録月間』運動一定、月間新記録など二十種目にわ一られた日報観景数報頭中國大會を

の被出も全く解説的である、新聞

強りをやつてある今日では、これ 行品は四千百萬部を超え、また日 (日曜版を除外)が紐首タイムス

な配針なかつてゐるとき、國民が、らぬ薬である。そんなわけで東部

大東語報第十二のやうな大規模 一致させるなんてなか! 〜 谷易な

敗戦

米

の宣傳網を發く

調査による公田形蔵

がいます、一直国际 が、いままに関係的である。 のであり、一直国际 が、いままに関係的である。 を大 かったり二人に一部の場である。 を大 かったり二人に一部の場である。 でも してある。 後って短脚を通じての かっため 一言目信号 が、いままに関係的である。

をかけて大きい、ラジオ解脱者の

次のの報色は汚しくないし、図 わど、これが至って資料な別の様とは汚しくないし、図 わど、これが至って資料な関係を うけたので、自然大概に同日意識質のため、汎める影響観響を飲っけたので、自然大概に同日意識質のなる。 これが ションド れど、これが至って軍純な頭の持 生たるアメリカ人の間にやんやと

心神様も顔負け

が頭のラジオに増れてゐる日本人

期を持つたのである。まじめなわ

限の巡異になってゐるものは映礁

を残べてある数値で、変那事態で なつた、相信な喰はせもので

羅 今村英生 問題 是

日本高 影水科 洋裁研究所

学無線は単校 文化中學院生徒募集

明書発上また

製器**朝鮮冷凍** 強怨獸獸行 養多

変味がで

金属

の徹底的に
間勝を随るため
も従
関部に達してゐる、これに週刊と 思ぞいデマ

を構造するためにも、國民の服意 臨版新版が五百廿五種で三千二百

戦場へ関リ立てる意図から出版 或は、 関げられてゐるのは頭はるまでも ると総計一萬三千種に及び、

アメ 寛比総末る同日、図線の総戦を襲 はどんな旅を辿り、またどんな方類等 ってゐたのも、総局逃がは同じと、法が探られてゐるだらうか?アメる。 新聞記者送も定さ負けずがら子無 ない、然らはアスリカの関内宣解、複行高に減くのか・一般部を建し、で特異の形式を建してなる。 正に続きる反目・反映の経験を襲 はどんな旅を辿り、またどんな方。 破してある。 ってあたのも、総局組がは同じと、先が探られてゐるだらうか?アズ。 のが四千九月八十五額、種が行って特異の野力を達しししてゐる。 のが四千九月八十五額、種が行ってお名。ラジオの修力はまた物養いものが あは、第6日で反対をいてるる。 ある、今日で反政権のラジオが繋いものが あるで第4人である。 ある、今日で反政権のラジオが繋いるのが が駆的な嬰人共と呼吸して有象無、深いも増して確認な意内は単が縁、か同形といった難録のものを取へ

中でも平和な生活を送れる

ならぬ、ところで酸國アメリカは

るな不自由、不順は現れぬじして、が潜水気から敷水に亘り砲弧を見るな不自由、不順は現れぬじして、が潜水気から敷水に亘り砲弧を見 るを成ずるが、それにつけても騒

金屬回收にこの熱意

斃れて

ララジオのア

27日

政治器散然運動に呼吸して起うる

みんな揃

米英撃滅、戦意昂揚の大合唱つて歌ひませう

大いなる祭

[105] 中野 芳

悌吉(繪) 實(作)

優勝盃献納

勝利の記録も赤襷 商からも

日婦本五分會の赤誠

とっと京成樹築では廿五日午前十 【宮夏=戦務金閣の吐行き』 一笑等の 勝利の 記録で不定影説 なって海軍武官府へ持登戦机シア

戦車他や機關銃

献金の波

銅銀貨千

戰時債券當簽番號表 (坎多)

中太学《周期、括弧內《朝母等級应金額》 《大概省》日本勘案銀行發表》

商廳

別化文路鍾 實

三省温丘 患疾性女 松田沿先中世界 がえず、食金不供、ヒステカス町、 種類類別、月經不等、 月経経等の一切のが人族ピー女性の衛牛質鉱、明助シスカ無料選手 大二関、三関五十七 全場の 第二関五十七

15 L. . . . 15 6

要計理事

朝日性病

電無僧系圏 第30回 関境

青春座公演 1千六日·6· 1月六日·6· 1187里 11年7里 11年7里 11年7里



三階の一十七日 カーニー十日 カーニー十日 カーニー 大将 氷ス





郡

神經科

京日案内

本 ニュース 日本 ニュース 日本 ニュース 日本 ニュース 三三 三 変 る を ませべ 三 三 変 る 変 せい こまで 2 変 の を ませべ こまで 3 変 の で ませべ こまで 3 で で 2 で から まかん アッセ ボーニュース 1 本 ニュース 7 変 の で ません アッセ ボーニュース 1 本 ニュース 1 本 ニュー

二十二日上級時間 三十二日上級時間 撃ちでし、止まむ 撃ちでし、止まむ 「また」では、空戦記 「また」では、 で戦記 「また」では、 で戦記 では、 で戦記 では、 で戦記 東洋工科

瞾 沅 徒生 暴

昭和中等學

美術工藝生 徒 暴

院

易生 美型 o集徒

て召集せられた政流探き通常職會

町市物所やさては英献生配力優売、依頼力の飛廊的増削の敵立とこれい原案に、成は出田舎の都顧。 曾された歴史的秘密であって、わ

年も東方県近郊定を 締結することになったものである。今间の郷産成立は米売の別様なる日ソ業団工作にもかえならず日ソ中立廃約が極めは昭和十一年以来第八回目のもので昨年末行はれ来った日ソ巡察権討議制に関する変形は何年末までに 整備に至らなかったので今日

5)レトこう 介向 発給に達し 三月二十五日クイビシエフ市において佐藤大臣とロプフスキー外部人民委員代理との間に右鷹産取締めの ・年代では300億分するで至ら省りしをもって十二月以來現行經濟條約の効力を本年末まで、破長せしめる鷹是取機め締結方薪食中日!)漁業・野定協定成立に関する情報局發表(廿六日午前十時)日ノ漁湾條約締結に翻する交渉は昨年も行れたる

教師
【リスボン廿五日間盟】ロンドン株自

加人三名を射殺 豐縣に反英熱昂まる

と 思はなかった 附近の住民の仕でもおそらく彼らの 釋放を 快し 職領引下の

に放いて岸崎程能に井野臨祖の出 はずである に放いて岸崎程能に井野臨祖の出 はずである をもつて構成されてある衆議院酸

期農大拓殖議義

を各様人が順端 中で修業 中で修業 中で修業 中で修業 中で修業 ので、大が順端

昔も

特火點五百を撃碎

獨ドネツ掃蕩戦進む ハリコフ東方の森林地帯でもパ

・・ 北阿ガベス 「リスボン 西方で激戦・廿五日 同西 ファシュー協会によればガベス 型」アルジー協会によればガベル ス西なーキャロのエル・ハンマ地 2回において同下コメル戦と反応戦 がいの間に激戦が原明合れてある の成功を融続してある。これらの 感激に大なる犯師化と特に優れ を快週力を郁する小蛇で、對激水 、緊臓師のため工大さんた特殊関値。 数性のである。これらの

アンカラへ ブール世四 日月思」アンカラ城間の徐次、廿四日イスタンブールに到着したドイツ道轄局建クロチウス幌子は甘五日アンカラに軽くとしたった。

を選げる

全國振興課長會議
全國振興課長會議 東京電話】全國振興器 まつ古 お井地方

ード猛砲撃

に化全健の子母 ムウシルカ性ドイロコ

対能で買れる 水家とかびや伊藤長兵衛

大阪髙津表 門筋

心仍得这个。如即

が推奨される 駅よりの連用

一般級して廿五日開東したが、本省一梯間へ回位することになったとの行合せを潜ませて來月早々

獨機英本土爆擊

ルホースー金色プロスプバー・

査業家の着想に 敬服 潜在發電力の開發

北鮮初視察の田中鮮銀總裁談 たが次のやうは語る

米、濠の西部サモア繼承マママママ

笑止、ニューギニヤにも食指

【東京電話】第八十一帝國語會終 | に即應する國內豬腦部整備を目標

治の本領を後期せられたことはま

本日閉院式を扱行せられ第八十

【ソスポン廿五日國盟】 メルボルン 來館 =四南太平洋 反隔 職難司令部は二十五日早間日本航空部隊はまたく ミルン 職の米暦 活地を履

チックコーン 保護学 リスポン廿五日同盟ニニューデリー疾病・印度融資反衝線質可令部は廿四日戦ととニー土五日要要レた

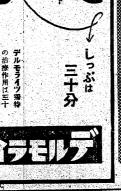
ところが反応機立関事を長年機

脂肪部の決成化を目的として開か

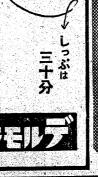
半数以上が開校し生徒も従來の

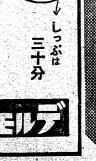
首相招待午餐會 新 <u>米</u> 3 島見麗を英 呼吸器病菌に對する抵 抗力をもつと强く! エーテーは氣道粘膜や皮膚の抗菌力を 昂めるピタミンADの外、結核菌毒素を緩和するB、腹脳恢復の主力となる を設備する。 では人酸、造血薬へモーゲン等を網羅 し、且つ消化吸收機る良好なるため、 速かに抗菌雄力を補張します 肝液と異り胃腸に触らか いので使々と連鎖服用ノ 肥病質・結接・肋膜炎 **最林省水產的機場的製**

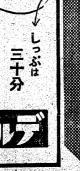


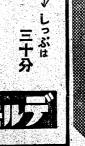
















九二七南沿・三七九阪替振

00 14.00 14.00

0

「靖國神社臨時大祭」を機に 全鮮に軍援昂揚運動 b

實施要項



管庭に練る必勝魂

層集ので一初の軍事技術普及錬成會

大日本青少年贈派遺除一行廿名は一る、紫の風呂觀に包ま

青少年團派

しき集立ち

人經歷接蔵所では廿六日 | 軍人援鞭接蔵所修了式」 軍援授産所の卒業式

譽れの兄に贈る

各方面からお土産品

をあずに控へて崩厥の遊児追隊が

當日、適齢者には入所命令

京城府が四月一日から開所する堂|

京畿道の割當額決る

の村野

一九三八本價券證村野 和記している。 一記では、 男が! 庭の雰圍氣と愛情の中温い美しい和やかな家といれているを懸けて没頭しい情熱を 美丸で表加字 鳩山東 京原質佐 また 発力 また 発力 また 大男淳 中ではなるの質問題







家健民

が見られ

けふの市況、共同

黄金町六丁目電停南 医学博士橫山久徐 電話東局二二一六 入院應需 昭和十八年

親戚総代 友人統代

鄭李高山

亡完福俊、三

明っとも 病性 **夜間診療**

宗城省都 時死去之 化學工業株式會社